

「やる気につながる好奇心」を実現する連携・協働体制の強化

- ▶ **岡山市教育委員会と岡山大学の強み**を活かし、多様で複雑な教育課題の解決に向けて総合的にアプローチしていく
教育施策・教育研究を促進する。
- ▶ 従来の専門領域の枠にとられない**教育に関する理論と実践の「総合知」**を創出していくとともに、それを基盤とした
教育課題の解決やコンピテンシーベースの教職員の育成を実現する。

岡山市教育委員会

- 学びの環境を整え、地域に密着した学校づくりを推進する
ための権限・財源をもった**政令指定都市**
- 中学校区を単位とした**岡山型一貫教育（縦のつながり）**と
岡山市地域協働学校（横のつながり）の形成
- 岡山市の教育課題に則した総合的な教育・研究・研修を
行う新しい**岡山市教育研究研修センター**の整備 など

岡山大学 教育学研究科・教師教育開発センター

- 幼稚園、小学校、中学校（全10教科）・高等学校、特別支援学校の教諭と養護教諭を養成する拠点
- **初等教育・幼児教育から高等教育・成人教育**を包摂した総合的かつ専門的な知見の蓄積
- 次世代を担う人づくり、学校づくり、地域づくりに貢献する**先進的な教育研究（ESD・STEAMや地域教育等）** など

岡山市教育委員会 × 岡山大学による相乗効果

主な取組の例

岡山市教育委員会 × 岡山大学 協働研究プロジェクトの推進

岡山市の教育課題に則した校内研修や授業研究の高度化

多様な資源を活用した相互補完的な教育研究研修機能の拡充

↑ 最初のプロジェクト：**考えよう不登校**をスタート

↑ これまでの実績・成果を活用しながら
開発-実施-分析-改善サイクルを構築

岡山市教育委員会×岡山大学 協働研究プロジェクト

岡山市教育委員会

プロジェクトテーマ ～ **考えよう不登校** ～

【プロジェクト発足の背景】

- ◇近年、学力や運動能力の低下への懸念とともに、不登校児童生徒の増加が全国的な教育課題に
- ◇第2期岡山市教育大綱においては、新規不登校児童生徒の減少を目標として位置付け
- ◇一括りに「不登校」と言っても、その原因や不登校期間など実状はさまざま
- ◇令和4年度 第3回 岡山市総合教育会議(2023.2.7)では「やる気につながる好奇心」をテーマに議論
- ◇他者への感心の喚起や対面でのコミュニケーションによる人間関係の構築にも注力
- ◇不登校に起因した孤立化や社会との隔絶をいかに抑止するかは岡山市の重要な教育課題のひとつ

【プロジェクトの目標・成果の活用】

- 協働研究では、岡山市の義務教育の実態をベースに、関係するデータや児童生徒、保護者、現場の教員の声を個々の課題に沿って峻別、岡山大学の専門性に基づく事例研究や分析・考察、他地域との比較などにより、**不登校に関する新たな知見・政策的含意を得ること**とします
- 得られた研究成果については、**指導法等に具体的に落とし込むとともに、現場へフィードバックし、教員の養成(大学生)、教員の研修(現職)に活用**します

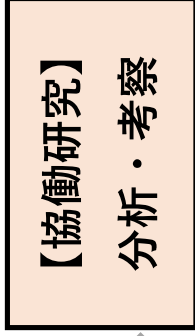
岡山市教育委員会×岡山大学 協働研究プロジェクト（イメージ）

【プロジェクトテーマ】

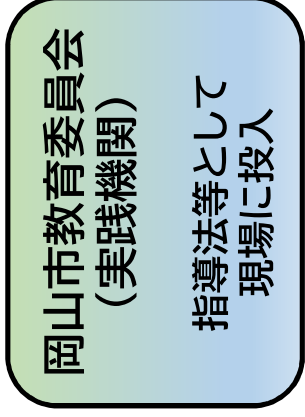
考えよう不登校



専門的知見
ノウハウ



データ
現場の声



不登校支援
不登校発生抑制

研究成果・政策的含意

